

冬場換気の目的

- どのような舍外環境でも、次のために最低限の換気は必要です；
 - 空気質の維持
 - 過剰な水分の除去
- 寒冷時／冬場には最低換気が推奨されます。



最低換気量

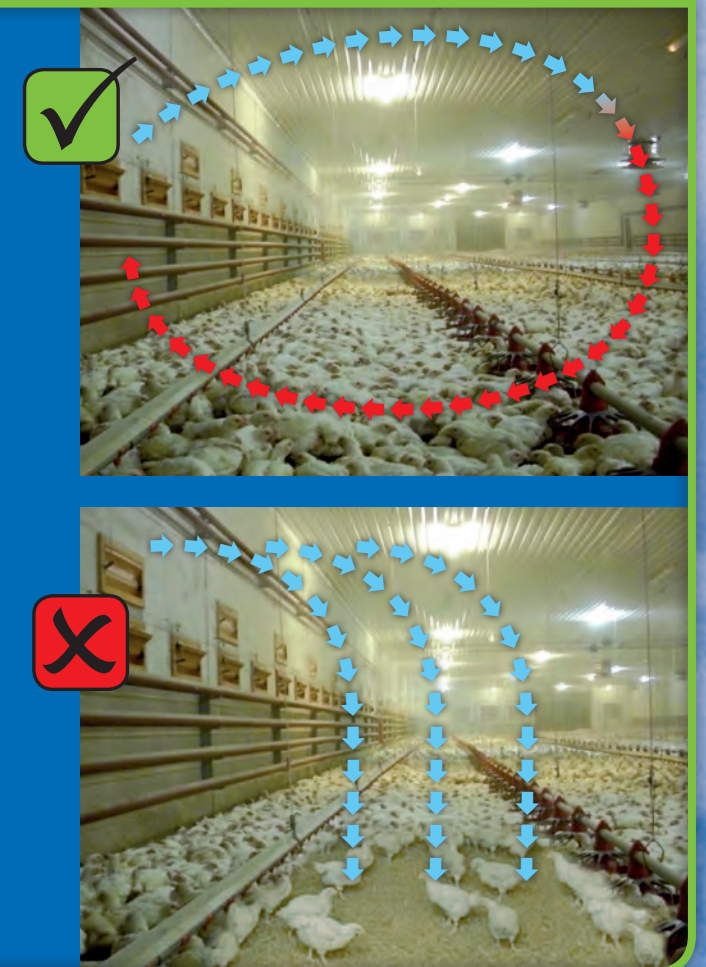
- 冬場換気の最低換気量ガイドライン；

※実際の換気量は環境コンディション、トリの行動と総重量（バイオマス）によって調節する必要があります。

生体重 (kg)	m ³ /時/羽	(ft ³ /分/羽)
0.050	0.074	0.044
0.200	0.210	0.124
0.500	0.417	0.246
1.000	0.702	0.413
1.600	0.999	0.588
2.000	1.181	0.696
3.000	1.600	0.942
3.400	1.758	1.035

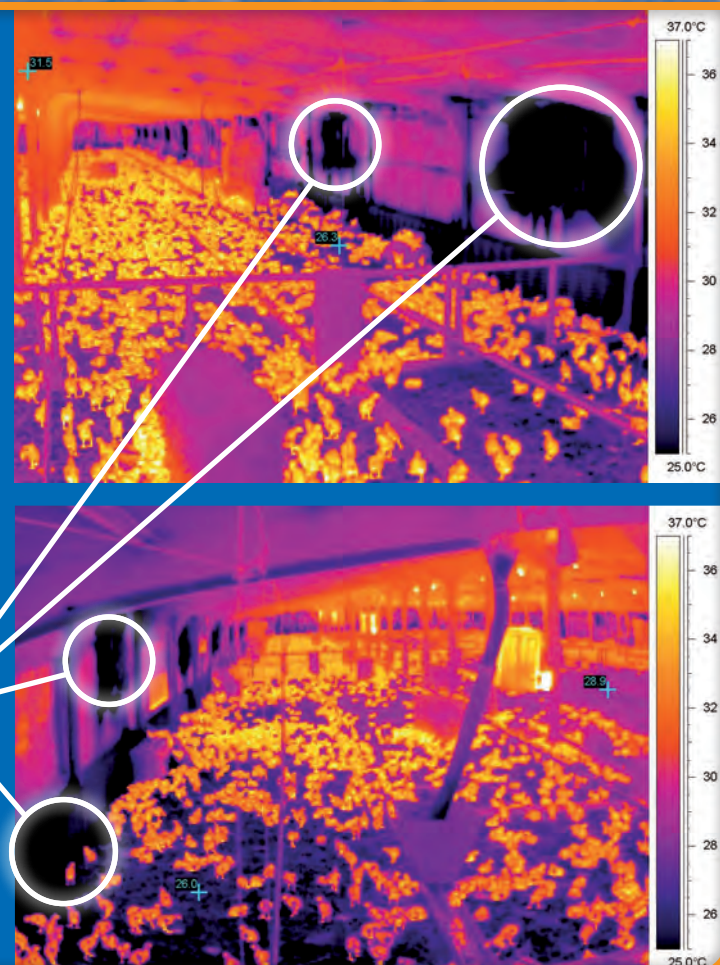
空気の流れと入気量が大切

- もし入気スピードと入気量が少な過ぎると；
- 冷気が直接トリ/敷料に落ちる。
- 敷料は湿り、トリを冷やすことになる。



鶏舎が密閉されているか確認

- 鶏舎が十分に密閉されている時のみ換気は効果的に働きます。
- そうすれば、舍内に入る風速をコントロールできます。



均一な入気口の開口幅

- 開口する入気口は鶏舎全体に均等に配置し、同じ幅で開けなければなりません。
- 換気量が少ない時には、数少ない入気口から同量の空気を入れるため、いくつかの入気口を閉じます。
- そうすれば、下記が均等になります；
 - 風量
 - 風速
 - 風向
 - 風の拡がり



定期的にモニターし、確かめる

- 舍内圧&風速のモニター；
 - 30-40 パスカル (0.12-0.16 インチウォーター)の静圧であるべき
 - 約4 m/秒(800 ft/分)の風速
- 風向きと入気口の設定が適正かどうか、スモークテストを用いる。
- モニターして期待したレベルに達していなければ、対応策をとる。
- トリの行動と敷料状態をモニターする。
- 定期的に確実に調べるのは；
 - 空気質
 - 相対湿度
 - 結露の兆候
 - ホコリの程度

